

きいてなへす みてなへす

市立福知山市民病院

所在地

620-8505

京都府福知山市厚中町231番地

TEL:0773-22-2101 FAX:0773-22-6181

ホームページ

<https://www.city.fukuchiyama.lg.jp/site/hosp/>

～一度私たちの病院に来てみませんか？～

第51号 発行日:令和4年11月30日

認定看護師さん紹介



感染管理認定看護師
芦田 尚加 さん



感染管理室で感染管理認定看護師として勤務しております、芦田尚加です。看護師として複数の病棟を経験し、感染管理を専門に勉強して現職に就きました。

感染管理って何？と仕事内容のイメージがつきにくいかもしれませんが、色々な感染症予防対策の知識をもって、医療にかかわる全ての人々が感染症に脅かされる事がないようにまた、感染症が発生しても拡がらないような対策を実施し、支援する役割を担っています。

また、当院は感染症指定医療機関、結核指定医療機関でもあり、今は新型コロナウイルス感染症対応も行っています。

病原体はあらゆる経路で侵入し、色々な感染症を引き起こします。それを予防するために感染予防対策があります。

病院内外の活動を通して、感染症に対して怖がらず、予防対策をとる事ですすべてのヒトがまもられるようにと願い、今後も活動を続けていきます。

静脈注射試験 に向けて特訓中



当院では、臨床での技術獲得に向け、経年別1年目に静脈注射の試験に取り組んでいます。臨床では必須の技術となるため、研修や筆記・技術試験を通して手技獲得に向けて日々練習し習得をしています。また、先輩方の技術を実際に見て学びを得ています。

部署全体で新人さんの成長に向けて取り組みをしています。



インサイト練習を同期や先輩と共に行うため身につけやすい。タイムを計り本番のように行ったり、実際に使用する物品を用いて練習することでイメージしやすい。



普段、先輩がインサイトを留置されているところを見学し、手技を学び、イメージをつけています。

新人さんに

アンケートをとってみました！

新人さんの声



入社してから今までで印象的だった出来事は？

- ・新生児の呼吸器疾患の子がネーザルハイフローを装着するなど重症でしたが症状が治まってきて退院した時
- ・終末期の患者様も多く病気受容から最後の看取りの瞬間まで目にする事が多く印象に残っている。日々患者様が自分らしく過ごせるように頑張っていたい
- ・コロナで面会もできなかつたりと制限があるなかで、少しでも苦痛が軽減したときに「ありがとう」と言っていたけるととても嬉しいです。
- ・治療で苦しい時期を乗り越えられた患者様が笑顔を取り戻され、少しずつ自律され退院される姿を見るとほっとします。
- ・入退院を繰り返される患者様が多く、「今回もよろしくね」と声をかけてくださる方もおられて、一緒に頑張らせていただいていると感謝しています。
- ・患者様と接する時間が想像していたよりも少なかった。
- ・失語のある患者様とのコミュニケーションが難しく何度も聞き返し怒らせてしまうこともありましたが、しかし言葉だけでなく表情や仕草などからも思いを汲み取ることができることに気づき、スムーズにコミュニケーションが取れたことが印象的でした。
- ・4歳の男の子が突然脳腫瘍の診断を受け両親も本人も驚きと不安でいっぱいでしたが翌朝、お父さんと2人で食事や散歩など普段の生活をすごく楽しそうに笑って過ごされているのを見てなんだか心苦しくも暖かい気持ちになりました。

夜勤についての感想

- ・緊急入院の患者様が来られると不安になりますが先輩方のサポートを受けて勤務させていただいている。
- ・患者様が急変したらどうしようという不安はある。
- ・はじめの頃は先輩のように1人で多くの患者様を看れるか不安があったが、少しずつ慣れてきてやりがいを感じている。
- ・何事もなく終わるとほっとする。患者様がゆっくり眠れるように音を立てたり光を当てたりしないように努めています。自身の生活リズムを整えるのには苦労しています。
- ・スタッフが日中に比べ少なくなるので不安になることが多い。
- ・はじめは不安だらけでしたが半年もすると少し慣れてきました。
- ・忙しい日と落ち着いている日の差が激しい。1人で回れるようになり、緊張と責任感がすごいです。

技術トレーニングの感想

- ・先輩の腕で採血をさせていただきすごく緊張したけどアドバイスをいただけて少し自身が持てるようになった
- ・先輩方が手順ややり方をしっかり見てくださるので自信を持って安全な看護を提供できるようになりました。
- ・忙しい中時間を作って細かいところまでしっかり指導いただけるのでとても安心です。
- ・勤務中にも練習する時間を確保していただき、しっかり練習できるので安心です。
- ・患者様に実施する際には①見学②見守り③実施と段階をふんで実施できるためより技術が身につけやすい。